

# 子どもたちの未来を支える両輪の活動を目指して ～八王子市立松木中学校と八王子市の取り組み～

発 表 者 八王子市立松木中学校運営協議会 会長  
八王子市学校運営協議会情報連絡会 代表 金山滋美  
八王子市立松木中学校 校長 泉澤 太

学校所在地	児童生徒数	学校運営協議会			地域学校協働活動推進員数
		設置年度	委員数	年間開催回数	
東京都八王子市	433名	平成22年度	10名	12回・臨時会有	4名

### 学校教育目標

校是「自立と協力」 教育目標「すすんで奉仕し、すすんで学び、そして、すすんで鍛える生徒」

### 学校・地域の特徴

多摩ニュータウン西部に位置する新しい地域であり、整備された町並みと自然が豊かな。住民は都心に通う人が多い。町会や自治会の力は弱い、学校や子ども支援をする団体は早くからある。街ができて30年、高齢化少子化も進んできた。

浄瑠璃祭り



### 学校運営協議会の概要

#### 委員の構成

- ・元教育委員/社会教育士
- ・青少年対策地区委員会会長
- ・2小学校運営協議会会長
- ・元PTA会長/祭実行委員長
- ・地域学校協働活動推進員
- ・PTA会長
- ・卒業生
- ・学識経験者
- ・校長

#### これまでの主な議題例

- ・教育課程、学校経営計画
- ・修学旅行・移動教室の実施及び内容、業者選定
- ・学校評価
- ・教職員、管理職の人事具申
- ・不登校傾向の生徒への対応
- ・地域の居場所、校内の居場所
- ・浄瑠璃祭り
- ・学習支援

#### 組織図

```

graph TD
    A[学校運営協議会  
学び支援部会・地域連携部会・評価部会・広報部会]
    B[地域学校協働本部]
    B --> A
    
```

地域学校協働活動推進員4名・地域スタッフ21名・地域講師14名

### 地域学校協働活動の 特徴的な取組や工夫など

1世帯で転入する家族が多い、第三次産業に従事する保護者が多いことなどから、子どもの体験の幅を広げること、学習支援もただ勉強するだけではなく、ボランティアさんとの交流を深めることを主眼としている。また中学と2小学校の地域学校協働活動推進員が連携し、3校で実施内容のすり合わせ、ボランティアの共有などを行なっている。こどもの居場所「ぬくぬく」は3校合同で運営している。

ぬくぬく駄菓子屋





日本遺産「桑都物語」についてはこちらから

## 東京都八王子市

- 八王子市は、東京都心から西へ約40キロメートル、新宿から電車で約40分の距離に位置
- 大正6年（1917年）の市制施行から、平成29年（2017年）で100年
- 平成27年（2015年）4月、東京都初の中核市となる
- 人口約58万人、21の大学を抱えた学園都市
- 高尾山（日本遺産認定、ミシュランガイド三ツ星）には、毎年300万人に上る登山者

**学校数** 107校（小学校69、中学校37、義務教育学校1）

**学校運営協議会** 101協議会（小中で合同学校運営協議会を設置、小中一貫校等があるため平成31年度全校設置完了）

## 八王子市立松木中学校

**創立30周年(1年4学級、2年4学級、3年5学級)**

- 新しく開発・整備が進められてきた多摩ニュータウン西部に位置
- 美しい街並みと自然が調和する緑豊かな丘の上に学校がある
- 学校の周辺地域は、子供たちが生活するのにとても良い、落ち着いた生活空間
- 学校敷地面積は45,000平方メートルを超える（都内屈指の広さ）

**平成22年** 学校運営協議会設置

**平成23年** 松木小学校・長池小学校 学校運営協議会設置  
3校合同学校運営協議会始動（各学期に1回）



目的：学校経営への参画 ⇨ 学校の課題を共有し解決を検討する  
「学校だけで決めたのではない、私たちにも責任がある」

◎ 教育課程・学校経営計画の承認、学校運営への適切な提言

- 校内報告（毎月の協議会にて学校より生徒の状況などを報告）～守秘義務がある
- 教職員面談（9月、1人15分、全教職員対象、経歴・仕事の状況・希望など）
- 学校評価の検討（生徒・保護者・地域の学校評価を検討、年2回）
- 2つの熟議
  - ① 毎月の学校運営協議会
  - ② テーマを決め地域全体で（年1回） / 生徒との意見交換 / 教員との意見交換
- 授業観察 / 行事への出席
- 保護者会での挨拶（学校が話しにくいことを伝える）
- 職員会議参加 / 教員研修参加（共通認識を持つ）
- 3校合同の活動（地域として課題を共有し解決を考える）
- 協議会の独自アンケート（自己評価のため）→昨年よりCSポートフォリオを実施
- 協議会だよりの発行 / HPの開設（保護者・地域への情報提供）

⇨ 校長が代わっても、学校の良さや強みは変わらない

**課題** 毎年の不登校の生徒の増加

### どうすれば不登校を減らせるか

小学校ですでに不登校になる児童もいる、小学校と連携して対策を講じる必要がある  
→ 3校合同学校運営協議会での熟議、地域の人々・保護者・教職員を交えた熟議へ

#### 【熟議】

**令和2年11月「子ども達が生き生きと活動できるために～不登校から考える」 1 オンライン開催**  
→不安を取り除くことが大切。不登校を無くさなければではなく、**物理的・心理的な安全基地**を作る。  
「大丈夫」を伝え続ける。

**令和3年2月「子ども達が生き生きと活動できるために～不登校から考える」 2 対面開催（武道場）**  
→大人は、子どもたちが学校に帰ってきてくれると嬉しいが、大事なことは、  
子どもたちが、**将来社会に出て自立していくこと**、あるいは、  
様々な支援を受けながら生活していけることが、不登校対策の一番の目的ではないか。  
そのための**つながる場所の提供**をできないだろうか。

⇒令和5年3月より実際のサードプレイス**こどもの居場所「ぬくぬく」**を近くの自治会館を借りて開設。  
熟議をへて、**大人が思いを共有してるので、実施のハードルは低い。**  
※詳しくはHPへ 松木中学校＞学校運営協議会＞三校合同学校運営協議会だより

令和3年12月「子ども達の社会性を育てるには」

令和4年12月「主体的に考え 行動できるこどもを育てるには」

令和5年12月「対話の力」を考えてみませんか？～映画「こどもかいぎ」より

→どの会でも、実体験の力、多様な大人との接点を増やすことなどが上がる。



昨年の熟議

## 目的：地域で子どもを育てる

### ◎ 生徒の地域貢献の機会を作る／地域の人との接点を増やす

→自己有用感アップ／多様な生き方を知る／地域の繋がり再構築

- ・浄瑠璃祭り（生徒がボランティア参加し大人と同じスタッフとして活動、生徒有志の舞台発表、部活の発表・展示、模擬店など。昨年、スタッフ・来場者合わせて1600名が参加）
- ・**道徳：地域の方のお話を聞く会**（各クラスに1人ずつ地域の人や先輩が入り、「中学生に伝えたいこと」を話す）

### ◎ 生徒の学ぶ機会や居場所をつくる

- ・漢字検定・英語検定・数学検定／英検二次  
試験面接練習会／3年生学習教室
- ・**子どもの居場所Third place「ぬくぬく」**
- ・**放課後カフェ「なないろ」**

### ◎ 保護者支援

- ・あさかぜFIKA（保護者や地域の方の交流会）
- ・**みどりの会**（不登校や不登校傾向の保護者の会）

放課後カフェなないろ



放課後学習教室



## 役割：学校・家庭・地域をつなぐ

- ・学校及び学校運営協議会との連携
- ・中学校区3校の連携強化—3校合同地域学校協働活動本部へ

**学校・学校運営協議会**  
課題の検討  
課題の解決策は？



**地域学校協働本部**  
解決策の実施  
企画の提案  
人材・費用の検討

地域人材  
地域団体

2小学校の  
地域学校協働本部

学校運営協議会や地域学校協働活動の成果は、なかなか目に見えないし、数値でも表しにくけれど・・・

**生徒** 作文で「地域の人に見守られて」  
卒業の言葉で「卒業したら今度は僕たちが地域貢献します」  
卒業生が、ボランティアで戻ってきてくれる 学習教室講師、地域の方のお話を聞く会講師、  
浄瑠璃祭りの実行委員、学校運営協議会委員にも

### 地域の方

お祭りの後で子ども達より「ありがとうございました」「来年も来ます」と言われて感激した  
豊かな実体験をしてほしい  
穏やかに「あなたが見ていることはまだ世の中のほんの一部なんだよ」を伝えたい  
人生は失敗の方がはるかに多い、報われなくても努力を続けることの尊さが伝われば・・・  
自分の時間や経験や知識が、少しでも子どもたちのお役に立てば嬉しい  
自分の子供の成長が愛おしいのと根っこは同じで、支援活動で出会う子供たちの成長を  
ずっと後ろの席からでも垣間見られることは喜び  
行事は地域の大人同士の繋がりができる大切な機会  
→地域の子どものことや地域のことを**自分事**と感じている

### 教職員

学校・家庭・地域の連携体制の充実 →働き方改革の推進により子どもと向き合う時間の増加  
一人の子どもに関わる大人の多様化  
学校経営の適正化と充実 →開かれた学校経営の実現と地域力を生かした教育活動の充実  
⇨**地域の子どものことを地域で育てることを通して、地域に貢献する子どもが育つ**

## 学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的活動推進のために

令和3年4月 **地域教育推進課**設置

・**情報連絡会の開催**（年2回）

八王子市教育委員会からの情報提供  
学校運営協議会会長の情報交換

・**研修の充実**（学び合う研修～研修会でも熟議）

学校運営協議会新任委員研修／学校運営協議会委員研修／  
地域学校協働活動推進員研修／合同研修／管理職研修

・**学校運営協議会マニュアル**

・**地域学校協働活動推進員ハンドブック**

学校運営協議会会長や地域  
学校協働活動推進員も参加して作成

・学校運営協議会活動事例集（毎年更新）

・学校運営協議会運営状況報告書（年度末提出）

・学校運営協議会の開催日程

活動の見える化

・地域教育推進課の働きかけ（活動の相談相手、教育指導課・施設課等との橋渡し）

・教育委員会の学校運営協議会訪問（地域教育推進課、教育指導課など）

※八王子市教育委員会HP「地域とつながる学校づくり」をご参照ください。

<https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/kyoiku/003/008/index.html>

⇒ 学校経営に関わる「意思決定のプロセス」を大切にすることで、学校運営協議会の機能を高め、地域学校協働活動との**役割分担を明確化**し、両輪の活動の一体的推進をさらに進める。各学校運営協議会が**主体的に議論し判断**できるように、地域学校協働本部の活動が充実するように支援する。

